

貴部門に関係深いセミナーの案内書を送りいたします。 ご関係者に回覧いただければ幸いです。

毎回好評//必ず役立つ 特別研究セミナー

— 開催・参加要領 —

今、本当に求められる コンプライアンス経営の本質と実践 ～幹部・担当部門が理解すべき基礎から実践ノウハウ～

【講師】 弁護士 浜辺 陽一郎 青山学院大学 法学部 教授
弁護士法人早稲田大学リーガル・クリニック

開催日時

2020年8月24日(金)
午後1時30分～4時30分

会場

港区商工会館 会議室
東京都港区海岸 1-4-28

参加費用・支払方法

1名につき **33,000** 円
2名目以降 **27,500** 円
(いずれも資料・税込み)

※申込受付後、参加証、請求書
会場図を送付致します。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

申込先・お問い合わせ

創業 49 年 セミナー実績 46 年
株式会社 経営コンサル
〒105-0003 港区西新橋 2-9-3
TEL:(03) 3501-6811(代)
FAX:(03) 3580-3580(代)
E-mail:con@sul.co.jp
下記申込書の必要事項を FAX 又は、E-mail でお送りください。

相変わらず深刻な企業不祥事や事件は後を絶たず、企業が対応しているコンプライアンスのあり方に対して様々な意見や厳しい批判がある。

こうした状況下で改めて、コンプライアンス・プログラムをいかに機能させるか、本当に求められるコンプライアンス経営とは一体どういうものなのか？

本セミナーでは、幹部・担当部門が本当に求められているコンプライアンス経営の理解のための基本的な考え方から実践ノウハウまで解説する。

I コンプライアンスとは何か

- 1 コンプライアンスの意義
- 2 コンプライアンスに関連する基本概念の整理
- 3 企業倫理遵守の必要性

II 内部統制システムとコーポレートガバナンス・コード

- 1 コンプライアンス問題とは
- 2 組織の規律の作り方
- 3 コーポレートガバナンス・コード
- 4 合理的な組織運営と柔軟性が必要
- 5 平成 26 年改正会社法による内部統制の強化
- 6 金融商品取引法による内部統制報告制度の趣旨・目的

III コンプライアンス経営実践の基本ステップ

- 1 経営幹部として押さえておきたい実践ポイントとは
- 2 コンプライアンス経営の基本的な考え方 …その理念と特徴

IV 機能するコンプライアンス体制の重要ポイント

- (1)コンプライアンス担当役員の重要性
- (2)コンプライアンス担当部署の組織体制
- (3)コンプライアンス経営のための弁護士活用
- (4)調査委員会(第三者委員会)の活用

V 有効な内部通報制度の作り方と留意点

- (1)内部通報制度を整備・充実するための課題
- (2)社内リネンシーの是非
- (3)受付部署＝通報窓口(ホットライン)をどこに設置すべきか？

VI 問題が生じた場合のトラブル対応のポイント

- (1)客観的事実の迅速・的確な調査
- (2)情報収集の重要性
- (3)証拠確保の重要性・・・日常的な文書データ管理が重要
- (4)コミュニケーションの重要性
- (5)説明責任・公表の重要性
- (6)情報の共有化とコンプライアンス

VII 委員会型の機関設計と執行役員制度

VIII 今後の課題とまとめ

～ 成功のための5つのポイント

【講師紹介】

1961 年生まれ、1985 年慶応大学法学部卒、1987 年弁護士登録、
1991 年ニューヨーク州弁護士資格取得/2004 年 4 月早稲田大学 (法科大学院) 客員教授を経て 2009 年 4 月青山学院大学法科大学院 特任教授から現職。
コンプライアンス、会社法、内部通報制度など関連著書論文多数。

申込書 No20-08241

テーマ
コンプライアンス経営の本質と実践
会社名

所在地 〒

TEL

FAX

E-mail

ご氏名 所属・役職

受付	参加証	入金	備考

